

薬草教室だより

平成 30 年 6 月 21 日発行 第 3 号

東京都薬用植物園 〒187-0033 東京都小平市中島町 21-1 Tel042(341)0344

江戸の薬草園を巡る

星薬科大学名誉教授 南雲清二

〔講師略歴〕

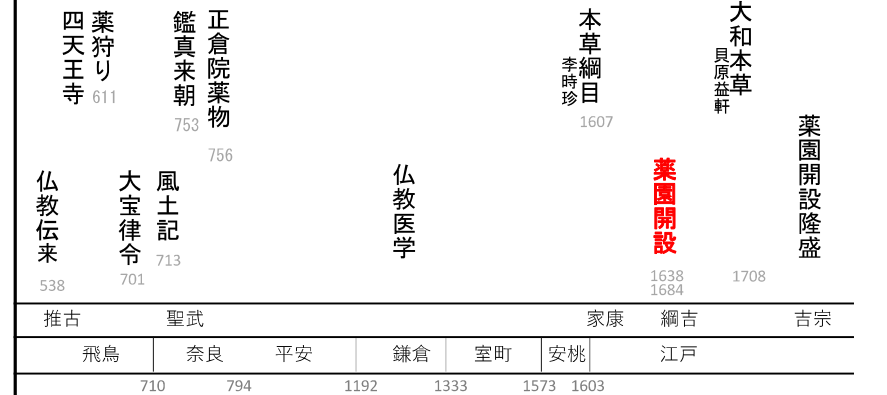
南雲 清二（なぐも せいじ）

昭和50年 星薬科大学大学院 修士課程修了
平成23年 星薬科大学名誉教授
前星薬科大学薬用植物園園長
元日本生薬学会関東支部長
元日本植物園協会常務理事
放送大学薬草学講師
薬学博士

江戸の薬草園をめぐる

東京駅周辺・医と薬の史跡

平成30年6月21日（木）
東京都薬用植物園
南雲清二



薬園の誕生

寛永15年 1638

大塚御薬園

麻布御薬園

小石川御薬園 貞享1年 1684

本草綱目

- ・人参栽培化
- ・採薬使
- ・薬園開設
- ・和薬改会所



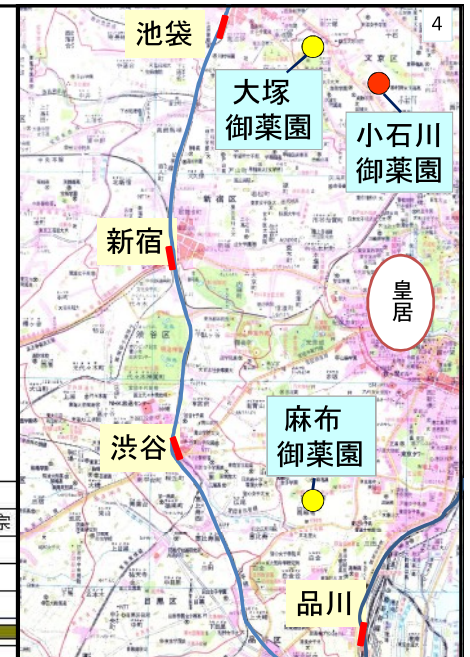
薬園の誕生

寛永15年 1638

大塚御薬園

麻布御薬園

小石川御薬園 貞享1年 1684





薬園18000坪
桂昌院(徳川綱吉 生母)の
祈願寺

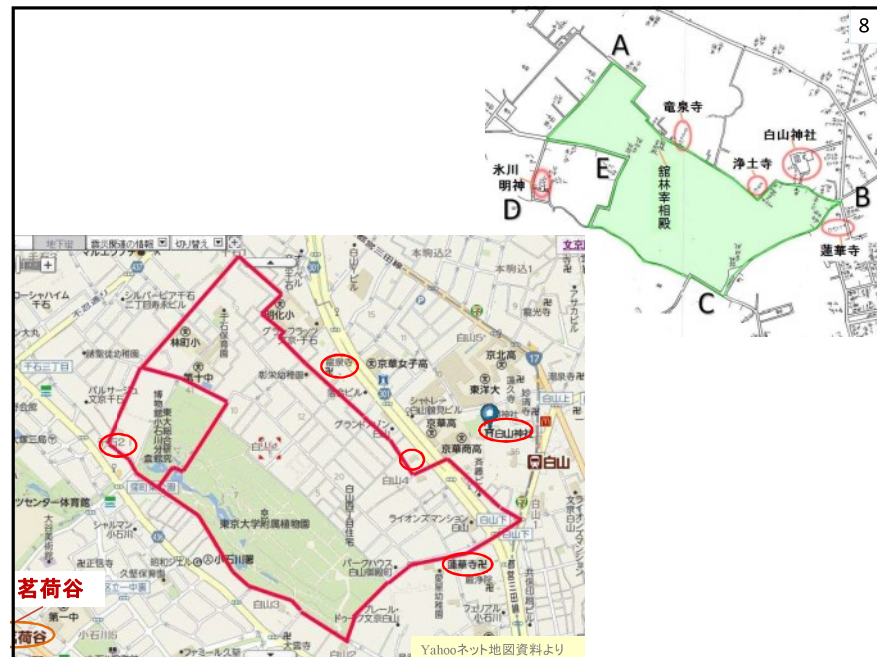
大塚御薬園跡
現: 護国寺
(文京区大塚五丁目)

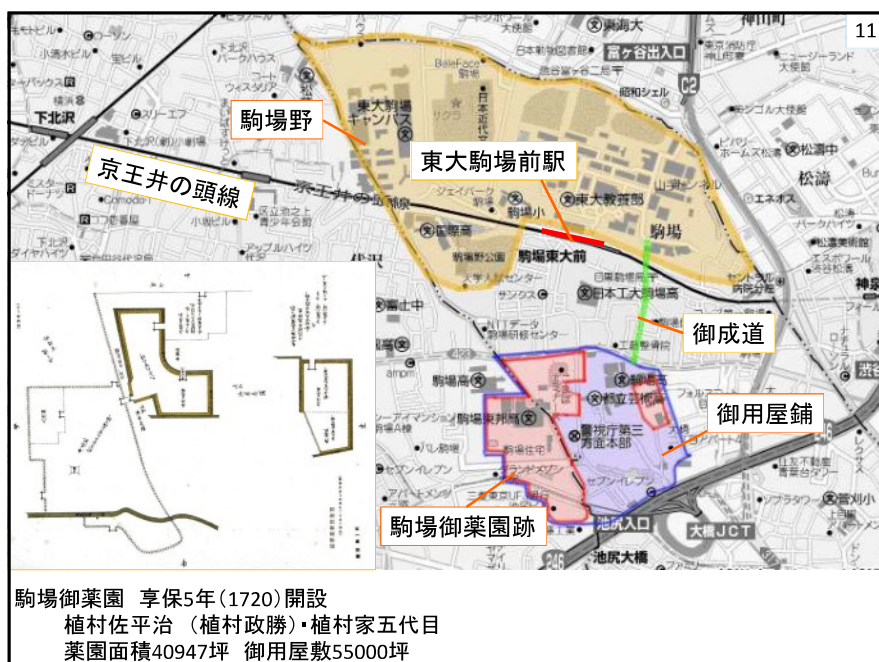
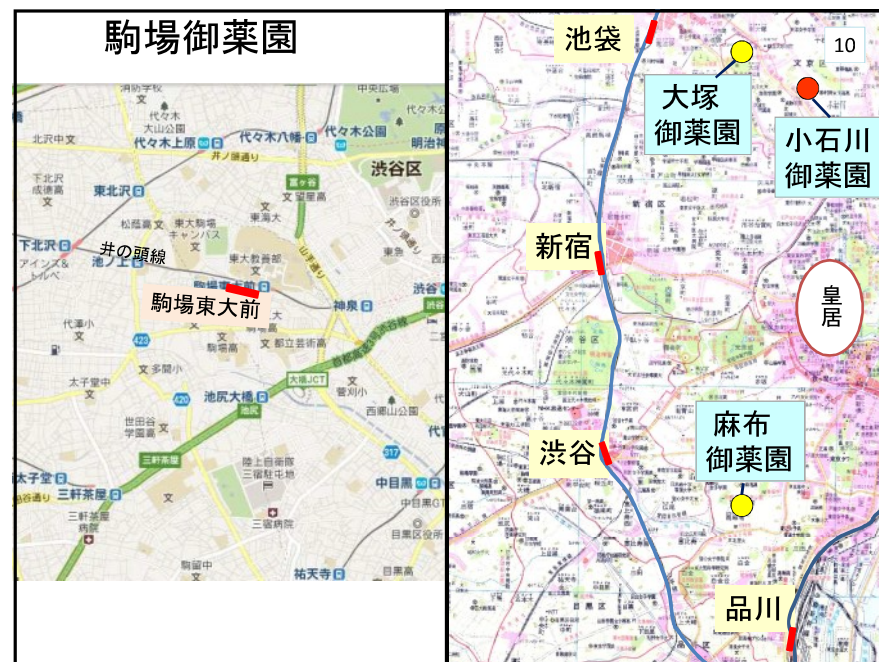


麻布御薬園跡
現: 光林寺周辺
(港区南麻布四丁目)



薬園広さ16000坪。
四之橋はかつて御薬園橋と呼ばれていた。





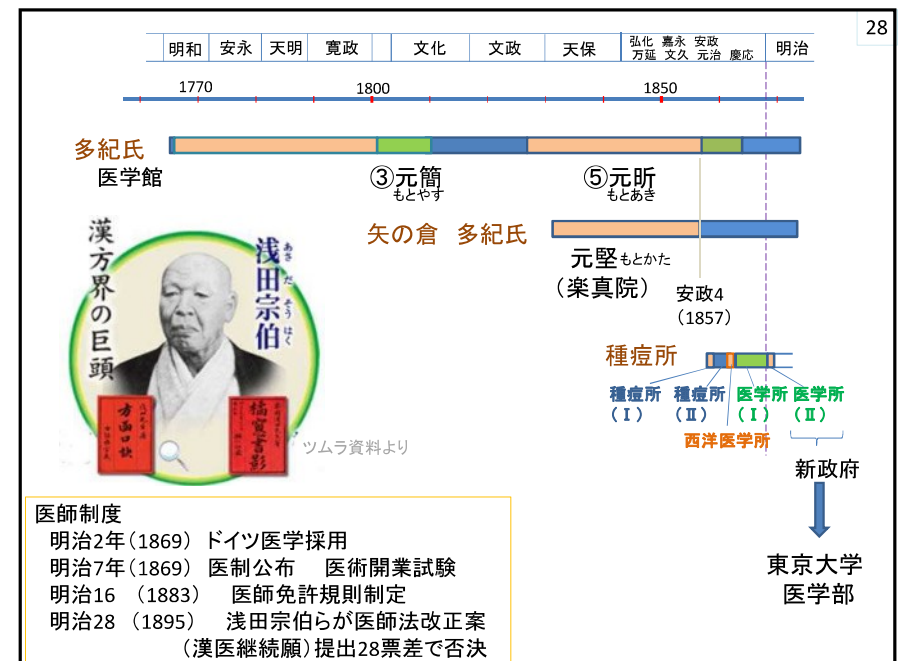
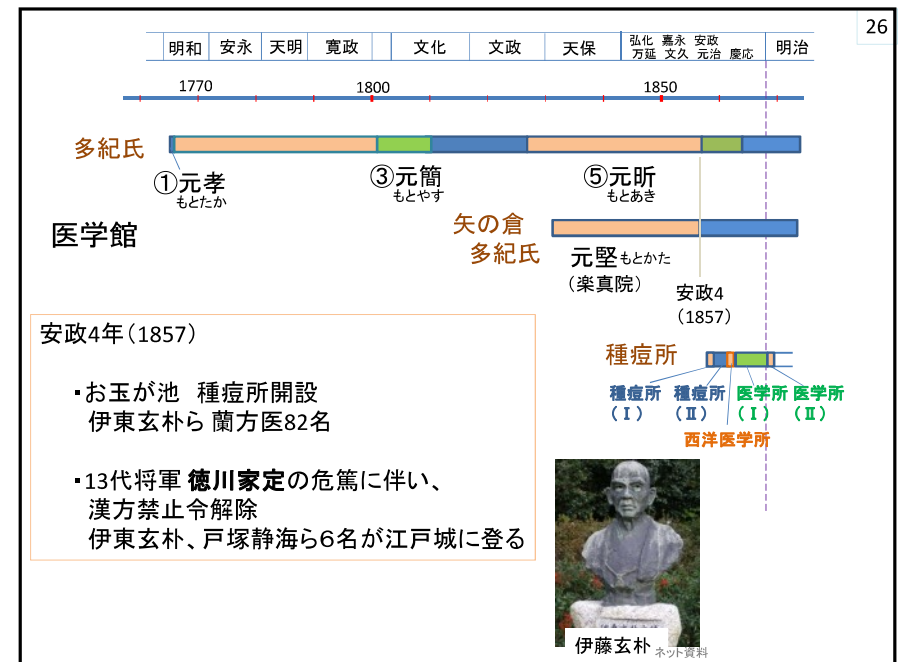
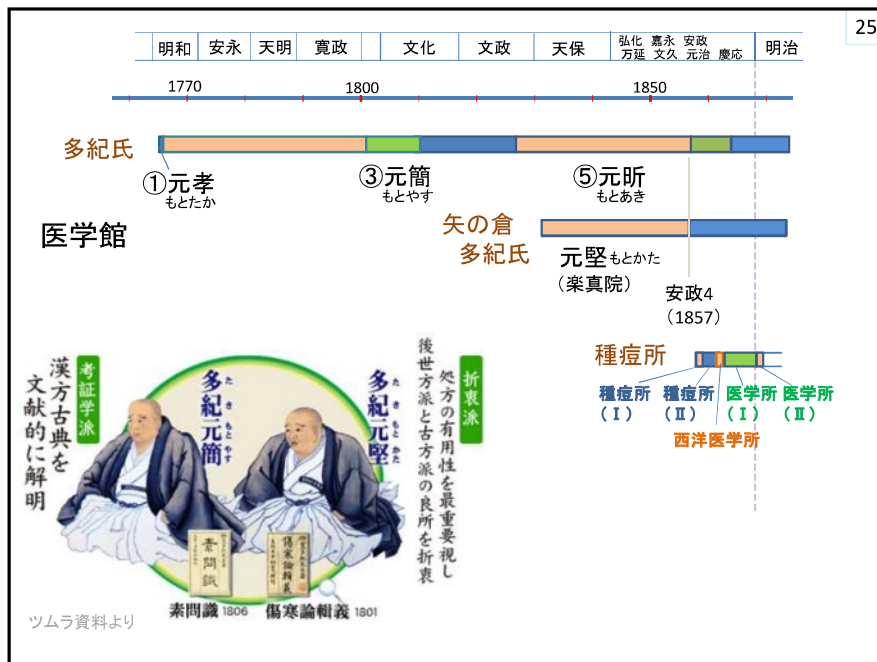
主な薬園の変遷

	1638	1650	1700	1750	1800	1850	1868
	家光		綱吉	吉宗	家治	家斉	
	寛永15	貞享元	享保5	宝暦6	安永8	寛政12	文政3 弘化2 明治
大塚御薬園							
麻布御薬園							
小石川御薬園							
京都御薬園							
長崎十善薬園							
長崎西山薬園							
駒場御薬園							
駿府御薬園							
尾張藩薬園（深井御薬園）							
会津藩薬園							
熊本藩薬園（蕃滋園・再春館）							
薩摩藩薬園							
人參中製所（栃木）							
甘草屋敷（山梨）							
森野旧薬園（奈良）							
下総小金牧・滝台野（千葉）							？









明治7 (1874)	医制発布 西洋7科に基づく医術開業試験	29
明治16 (1883)	医師免許規則制定(太政官布告)	
明治28 (1895)	浅田宗伯らが医師法改正案(漢医継続願)提出 28票差で否決	
明治43 (1910)	和田啓十郎 が『 医界之鉄椎 』	
昭和3年 (1828)	湯本求真が『皇漢医学』	
昭和25 (1950)	日本東洋医学学会が発足	
昭和42 (1967)	漢方製剤の薬価基準収載	
昭和51 (1976)	漢方方剤のエキス剤が健康保険適用	



明治7 (1874)	医制発布 西洋7科に基づく医術開業試験	31
明治16 (1883)	医師免許規則制定(太政官布告)	
明治28 (1895)	浅田宗伯らが医師法改正案(漢医継続願)提出 28票差で否決	
明治43 (1910)	和田啓十郎が『医界之鉄椎』	
昭和3年 (1828)	湯本求真が『皇漢医学』	
昭和25 (1950)	日本東洋医学学会が発足	
昭和42 (1967)	漢方製剤の薬価基準収載	
昭和51 (1976)	漢方方剤のエキス剤が健康保険適用	

大塚敬節 おおつか けいせつ

奥田謙蔵 おくた けんざう

細野史郎 ほのの しろう

矢数道明 やすみち ちやうめい



ツムラ資料より